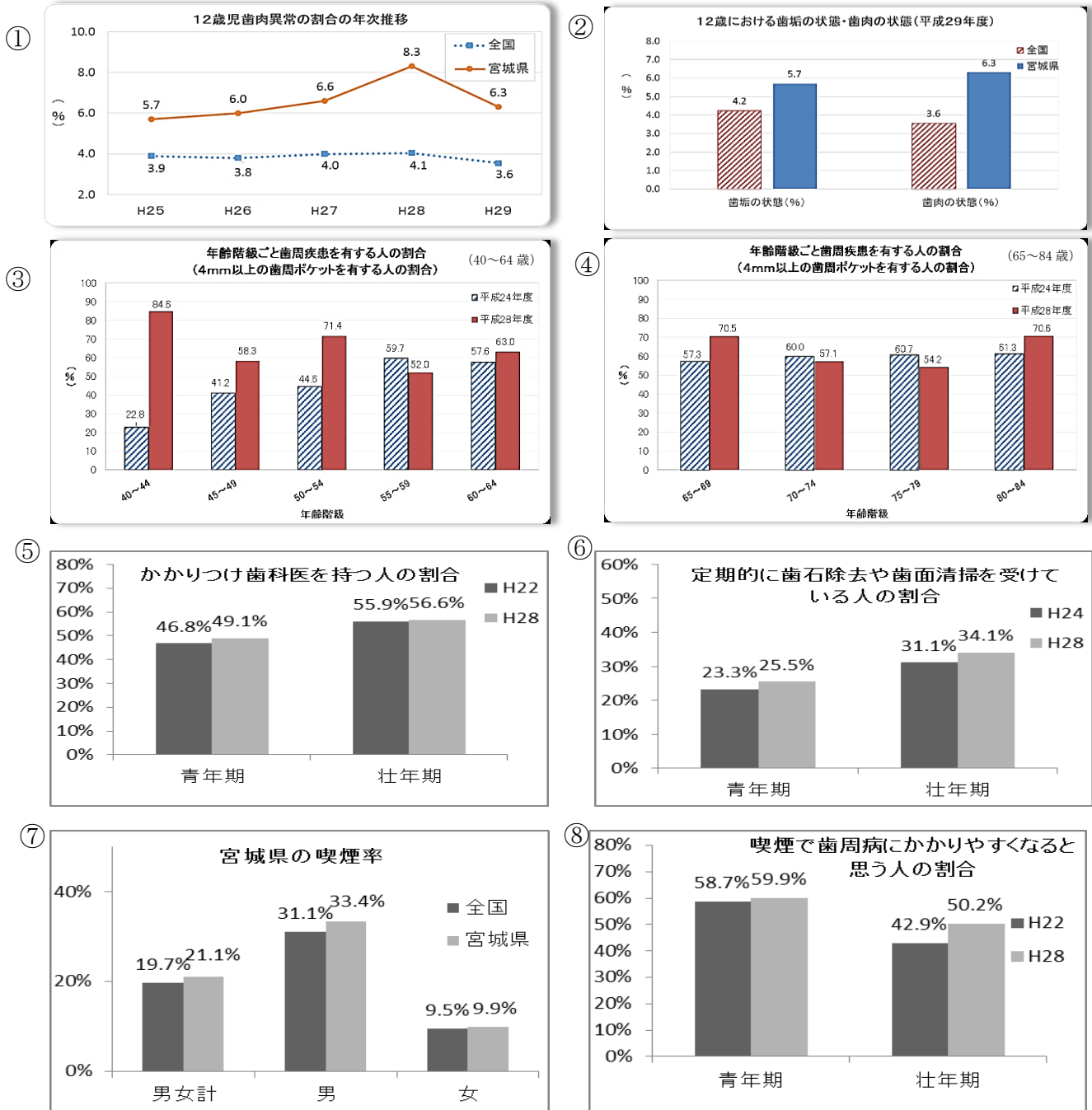


平成31年度以降の「歯周病予防対策の強化」に係る具体的な取組について

1 現状と課題

- ・ 本県では歯周疾患に係る課題が多い（全国比で学童期からの歯肉異常が多い。かかりつけ医を持ち、定期的な歯石除去等を受ける人の割合が増えない。等）。
- ・ 喫煙率が高いなどの関連要因もあり、これらの課題を踏まえた対策が必要である。

【宮城県の歯周疾患に係る指標値等】



2 成果目標

- ・ 学童期・思春期，青年期・壮年期に働きかけ，家庭における相乗的な効果を目指す。
- ・ むし歯及び歯周疾患対策を取り上げることで，総合的な歯科口腔保健の啓発を図る。
- ・ 関係する団体が連携して対策に取り組むことで，全身の健康増進が図られる。

3 具体的な取組（案）

- ・セルフケアへの意識醸成，喫煙との関連を踏まえた対策，専門的ケアを受けられる仕組みの整備が必要であることから，次の方向性のもと，事業の検討を行っていく。

（1）適切なセルフケアの実践による自己予防

イ リーフレットの作成

- ・内容：宮城県の歯周病の現状，各ライフステージにおけるセルフケア方法
- ・対象：県民（市町村を通し各種健診時等に配布）

ロ 講習会の開催（年2か所程度）

- ・内容：幼児の歯みがき習慣化の指導方法（保健所管内の集合型）
- ・対象：保育施設等職員

（2）たばこ，受動喫煙防止対策との連携強化

イ 小冊子の作成

- ・内容：青・壮年期の歯科健診の必要性，歯科健診実施後の禁煙指導までの流れ
- ・対象：事業主（公的医療保険者を通じた配布）

ロ 多職種連携会議の開催（年1回）

- ・内容：歯周疾患を導入とする禁煙支援ネットワークの形成
- ・対象：医師会，歯科医師会，歯科衛生士会，薬剤師会，公的医療保険者

（3）定期的な歯周病検診を受けやすくする社会環境整備

イ 講習会の開催（年5か所程度）

- ・内容：青・壮年期の歯周病の現状と対策の重要性
- ・対象：各事業所の労働安全衛生管理者

ロ 歯科健診実施事業所の事例の発信（年2回程度），表彰制度の導入

- ・内容：取組事例（健診実施方法，従業員の反応，事業上の効果）について，口腔保健支援センターのニュースレター等で発信
- ・対象：市町村，各保健所，公的医療保険者，事業者

（4）その他

既存の歯科口腔保健事業についても，歯周疾患の改善に係る内容を追加例）幼児歯科保健関係者研修会，歯と口腔の健康づくり研修会，市町村歯科保健担当者研修会